

資本コストや株価を意識した 経営の実現について



幼児活動研究会株式会社
2025年6月24日

現状分析

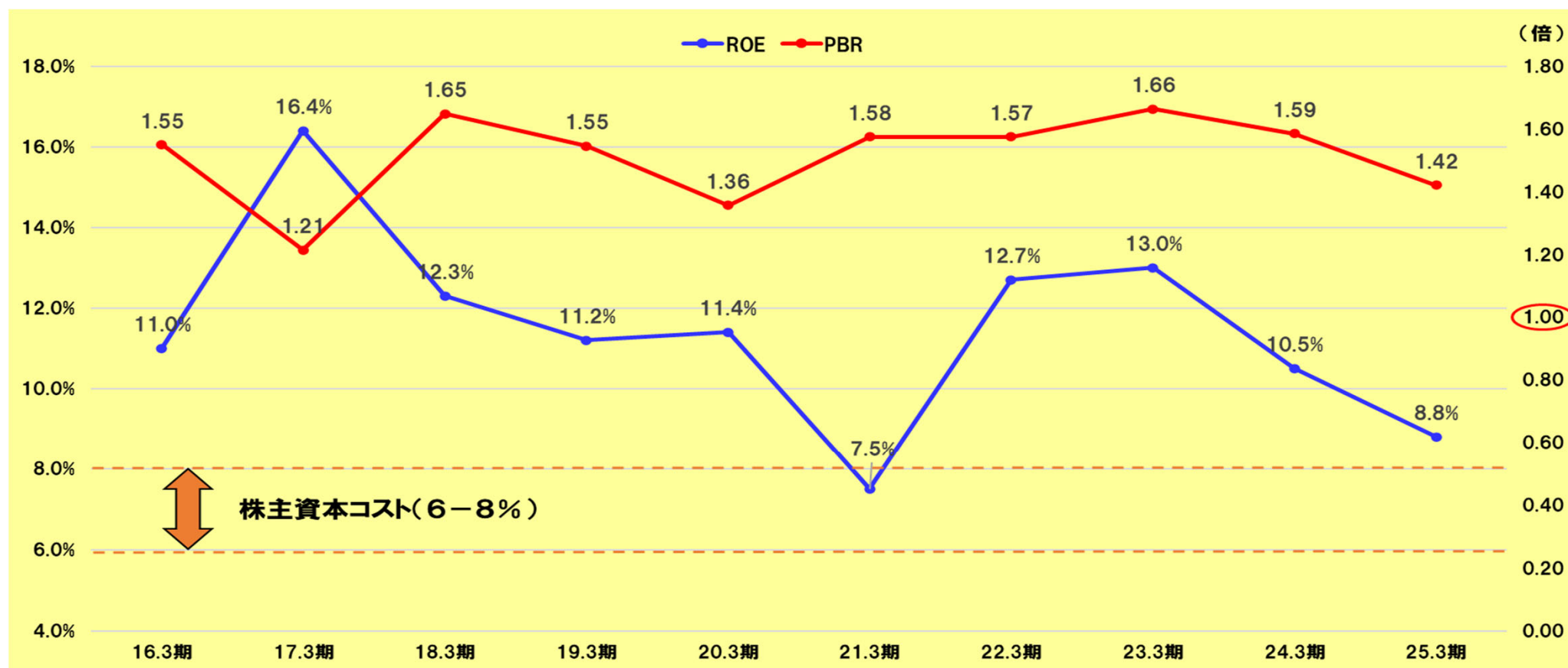


■PBR:1.42倍（2025年3月末）

⇒過去10期は1.2～1.7倍の範囲で推移、ミニмум1倍以上の状況が継続

■ROE:8.8%（2025年3月末）

⇒2021年度はコロナ禍で大きく低下、それ以外の年は株主資本コストを上回る



市場の評価を得るためには、株主資本コストを上回る資本収益性の達成が必要

持続的成長と企業価値の向上



対応	具体的な取り組み	
収益性の改善	既存事業の強化 ROEを意識した経営	収益性改善
内部留保の活用による成長に向けた投資	M&A・事業提携などの投資戦略の実行 システム投資 人的投資	資産効率化
成長戦略の実行	幼児体育指導市場のシェアアップ コンサルティングビジネスの強化 療育ビジネスの強化	成長に向けた キャッシュ アロケーション
株主還元などの資本政策	安定配当の継続 株式の流動性を高める施策の検討	

収益性の改善

■既存事業の強化

- 👉 体育指導だけではなく、契約園の発展に関わるさまざまなサービスの提供
- 👉 利益率の高いコンサルティング事業の拡大

■ROEを意識した経営

- 👉 経常利益率15%以上の経営指標に加え、ROE10%以上の維持・継続を図る

内部留保の活用による成長に向けた投資

■M & A・事業提携などの投資戦略の実行

- 👉 既存事業の価値最大化
- 👉 新規事業の創出や新たな販路の獲得

■システム投資

- 👉 AIを駆使した新たなサービスの提供

■人的投資

- 👉 安定した定期採用、ベースアップ
- 👉 リファラル採用等の新たな採用方法の活用

成長戦略の実行

■幼児体育指導市場のシェアアップ

👉 競合企業のM & A・アライアンスによる
シェア拡大

👉 国内幼児体育市場の深堀り

■療育事業の拡大

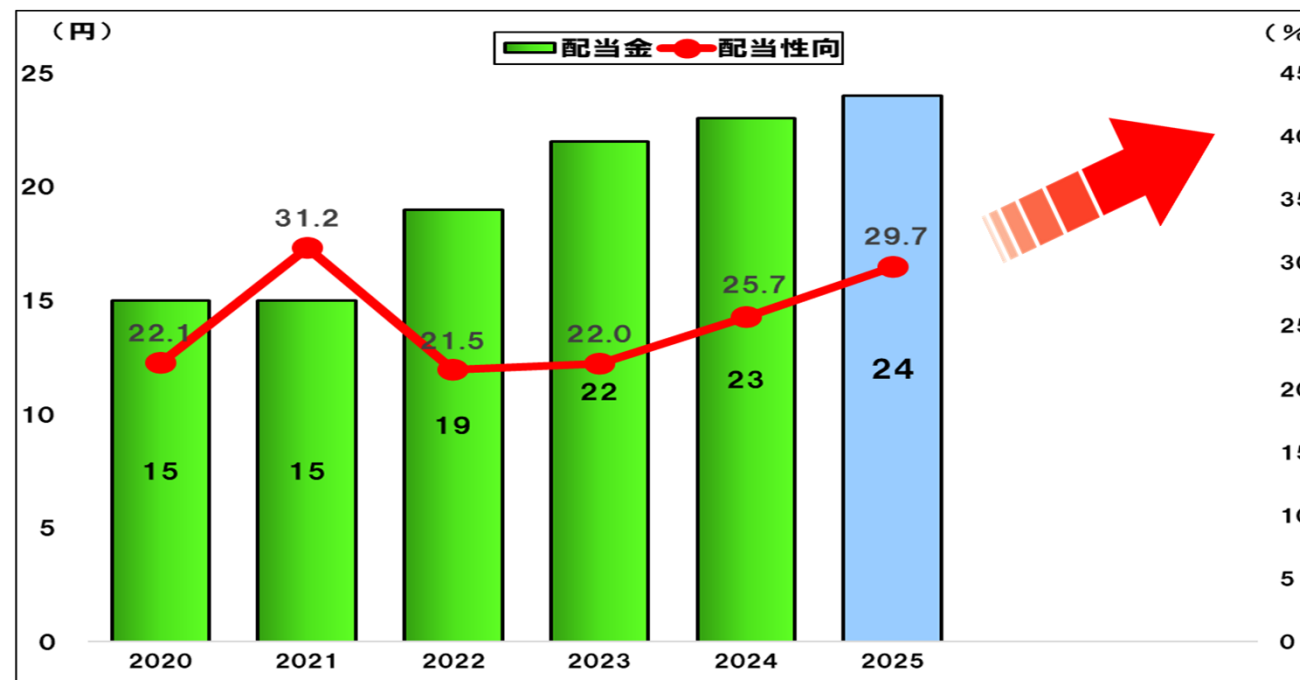
👉 療育施設の大規模都市での展開

👉 療育指導者の育成と療育指導者による
園での指導の全国展開

■新規ビジネスの発掘

株主還元などの資本政策

■安定配当の継続



■株式の流動性を高める施策について検討

**未来を背負う子供たちのため
日本社会人類世界に貢献する**

**■少子化時代を乗り越える成長理念
人を喜ばす社風が売上利益の源泉
となる企業**